

The Record vol.615

Music enables communication to go beyond languages. This is the reason why some emotions and impressions can be conveyed only through music. Recorded media shoulder the most important role as a vehicle to convey such emotional impressions to people. Despite the changes in the form of music carriers from analog media such as LPs to digital media, its role remains unchanged.

The Recording Industry Association of Japan (RIAJ) contributes toward the healthy development of Japanese culture via various activities including the spread of recorded media and the enlightenment of copyright consciousness.

| 第 25 回日本ゴールドディスク大賞授賞式開催

| 第三回CDショップ大賞 2011 授賞式開催

| 2010 年ミリオン認定作品

| 改正著作権法 30 条施行から一年



Contents

Monthly News Digest.....	1
特 集	
第 25 回日本ゴールドディスク大賞授賞式開催 ...	3
特 報	
第三回 CD ショップ大賞決定!! 大賞は andymori の『ファンファーレと熱狂』に...	5
2010 年ミリオン認定作品	7
改正著作権法施行から一年が経過 ～ダウンロード違法化の認知と今後の課題～	8
SARVH - 東芝訴訟 東京地方裁判所の判決について	9
平成 22 年度 (第 65 回) 文化庁芸術祭賞贈呈式開催	11
PICK UP	12
Monthly Production Report	13
GOLD DISK	14

1 / 5

2011年新年賀詞交歓会開催

1 月 5 日、東京都千代田区のホテルニューオータニ「芙蓉の間」において、当協会は毎年恒例の新年賀詞交歓会を開催した。当日は、国会議員の先生方をはじめ、関係官庁、関係団体、マスコミ、販売流通業界、その他関係各方面から多数で出席いただいた。

新年賀詞交換会は、当協会石坂敬一会長の挨拶に始まり、来賓を代表して近藤誠一文化庁長官からのご挨拶の後、長尾真国立国会図書館長、近藤賢二内閣官房知的財産戦略推進事務局長および音楽関係団体代表者による鏡開きが行われ、引き続き（社）日本芸能実演家団体協議会野村萬会長に乾杯のご発声をいただき、賀詞交換と歓談に移った。

会場には、約 840 名の方々が一堂に会し、新年の挨拶を交わし合い、晴れやかな会となった。

当日で出席頂いた国会議員の方々。
(敬称略、50 音順)

柿澤未途	(みんな・衆)
木村たけつか	(民主・衆)
小坂憲次	(自民・参)
小林興起	(民主・衆)
斉藤鉄夫	(公明・衆)
高木美智代	(公明・衆)
富田茂之	(公明・衆)
中山義活	(民主・衆)
牧山ひろえ	(民主・参)
松浪健太	(自民・衆)
松野頼久	(民主・衆)
宮本岳志	(共産・衆)

1 / 11

サービスプロバイダに対して 音楽ファイル不正アップロード ユーザーの発信者情報の開示 を求める訴訟提起

当協会会員レコード会社 9 社は、1 月 11 日までに、ファイル共有ソフトを悪用してインターネット上で音楽ファイルを不正にアップロードしているユーザー 6 名の氏名等の開示を求める訴訟をインターネットサービスプロバイダ (ISP) 1 社を被告として、東京地方裁判所に提起した。

今回、訴訟提起に至ったのは、昨年 8 月に当協会会員社が、「プロバイダ責任制限法」第 4 条第 1 項に基づき、ユーザーが市販音楽 CD の音源をファイル共有ソフトを利用して許諾なくアップロードしている行為が、各社の著作権隣接権を侵害しているとして、当該ユーザーの氏名、住所等の情報 (発信者情報) の開示を ISP に求めたのに対し、ISP 側が裁判所の判断によらずに ISP 独自の判断で発信者情報を開示することは控えると回答したことによるものである。

当協会は、訴訟により当該ユーザーの発信者情報の開示を受けた後、損害賠償請求等を行う予定である。

なお、当協会はファイル共有ソフトを悪用した著作権侵害のため、「ファイル共有ソフトを悪用した著作権侵害対策協議会 (略称 CCIF)」に昨年 4 月から参加し、Winny を利用して音楽ファイルなどをアップロードする者に対して、注意喚起するメールの送信をプロバイダに依頼しており、1 月末日までに 1,203 通のメールの送信を依頼している。



このエルマークは、レコード会社・映像製作会社が提供するコンテンツを示す一般社団法人日本レコード協会の登録商標です

【参考】

■プロバイダ責任制限法第4条第1項

特定電気通信による情報の流通によって自己の権利を侵害されたとする者は、次の各号のいずれにも該当するときに限り、当該特定電気通信の用に供される特定電気通信設備を用いる特定電気通信役務提供者（以下「開示関係役務提供者」という。）に対し、当該開示関係役務提供者が保有する当該権利の侵害に係る発信者情報（氏名、住所その他の侵害情報の発信者の特定に資する情報であって総務省令で定めるものをいう。以下同じ。）の開示を請求することができる。

- 一 侵害情報の流通によって当該開示の請求をする者の権利が侵害されたことが明らかであるとき。
- 二 当該発信者情報が当該開示の請求をする者の損害賠償請求権の行使のために必要である場合その他発信者情報の開示を受けるべき正当な理由があるとき。

当協会では昨年12月17日よりスタートした著作権啓発キャンペーン「LOVE MUSIC」の企画の一環として、12月21日に「レコード会社人事採用担当者緊急会議！こんな学生を採用したい」、1月25日に当協会会員社のA&R（制作）および宣伝担当者出演による「レコード会社の仕事について」の座談会を行い、その模様をUSTREAMにおいて生中継で放映しました。

この企画は楽天（株）が運営する「みんなの就職活動日記」の動画コンテンツ「みんなの就職TV」の協力により行われ、当日は伊藤洋介さん（東京プリン）の司会により、当協会会員社の人事担当者（12月21日）、またA&Rおよび宣伝担当者（1月25日）の座談会を実施し、その模様を「みんなの就職TV」でUSTREAM生中継、さらに、Twitterで視聴者から寄せられる質問に番組内で回答し、レコード会社の社員の特徴、仕事の魅力や創り手・送り手側の音楽への熱い思いを視聴者に語りました。Twitterには数多くの質問、感想が寄せられ、盛況のうち番組は終了しました。

なお、座談会の模様は下記URLでご覧頂けます。

<http://www.ustream.tv/channel/minsyutv>



生中継参加会員社

【12月21日】

日本コロムビア株式会社、キングレコード株式会社、株式会社ティチクエンタテインメント、ユニバーサル ミュージック合同会社、株式会社ポニーキャニオン、エイベックス・エンタテインメント株式会社（6社）

【1月25日】

日本コロムビア株式会社、ビクターエンタテインメント株式会社、キングレコード株式会社、株式会社ティチクエンタテインメント、ユニバーサル ミュージック合同会社、株式会社EMI ミュージック・ジャパン、株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメント、株式会社ポニーキャニオン、株式会社ワーナーミュージック・ジャパン、エイベックス・エンタテインメント株式会社（10社）

RIAJ2011年1月度理事会議案

■ 審議事項

1. 平成23年度重点施策及び収支予算の骨子（案）について

■ 報告事項

1. 次期会長候補者選考委員会報告
2. 平成22年度第3四半期重点施策及び予算執行状況報告
3. 二次使用料関係報告
(1) 民放連との二次使用料協議の状況について
4. 法制委員会関係報告
(1) SARVH 関係報告
(2) 著作権分科会報告
5. マーケティング委員会関係報告
(1) 第三回 CD ショップ大賞授賞式開催速報
(2) 着うたフル®2010 年間チャート発表について
6. 広報委員会関係報告
(1) 「守ろう大切な音楽を」キャンペーン 2010 報道状況報告について
7. 日本ゴールドディスク大賞委員会関係報告
(1) 第25回日本ゴールドディスク大賞授賞式について
8. その他報告
(1) JMG 関係報告

第25回日本ゴールドディスク大賞授賞式開催

当協会は第25回日本ゴールドディスク大賞授賞式を、1月5日(水)14時より、東京都千代田区のホテルニューオータニ「おり鶴 麗の間」において開催した。

日本ゴールドディスク大賞は1987年に制定され、対象期間(2010年1月1日～10月31日※)に発売された全作品の総出荷数から返品数を差し引いた正味売上数を集計、その結果に基づき、最も支持された作品、アーティストに対して授与されるものである。

今年度の受賞作品・アーティストは、47作品・アーティストとなり、「アーティスト・オブ・ザ・イヤー」の邦楽部門は嵐が、洋楽部門はレディー・ガガが受賞した。

今回の授賞式は、新聞、テレビ、雑誌等マスメディア向けに記者発表形式で開催し、9組(計15名)のアーティストが参加し、DJの赤坂泰彦さんが司会を務めた。アーティストの皆さんはトロフィーを手に入賞の喜びを語った。

※ 今回より授賞式の開催時期を1月に変更したため、今回の対象期間は2010年1月1日から10月31日までの10ヵ月となる。なお、次回以降の対象期間は、11月1日から翌年10月31日の1年。

■ 出席アーティスト AKB48(大島優子、柏木由紀、高橋みなみ)、WEAVER、植村花菜、きただにひろし(アニメ「ワンピース」)、北乃きい、KG、徳永英明、日本コロムビア吟詠音楽会(桶谷霞心、橋本征憲、福永瀧霊)、miwa

■ 司会

赤坂泰彦

(50音順・敬称略)



AKB48のメンバーから、(写真左より)大島優子さん、高橋みなみさん、柏木由紀さん。「シングル・オブ・ザ・イヤー」「ザ・ベスト5シングル」を受賞。



「トイレの神様」で「特別賞」を受賞した植村花菜さん。



当日授賞式にご出席いただいた皆さん。



「アニメーション・アルバム・オブ・ザ・イヤー」を受賞した「ONE PIECE MEMORIAL BEST」より、きただにひろしさんが駆けつけた。



「VOCALIST」シリーズで「特別賞」と「企画アルバム・オブ・ザ・イヤー」を受賞した徳永英明さん。



「純邦楽・アルバム・オブ・ザ・イヤー」を受賞した日本コロムビア吟詠音楽会より、(写真左より)橋本征憲副会長、桶谷霞心会長、福永瀧霊副会長が出席。

「ザ・ベスト5ニュー・アーティスト」受賞者より



WEAVERの皆さん



KGさん



miwaさん



北乃きいさん

アーティスト・オブ・ザ・イヤー

■ 邦楽

嵐

シングル: 3,459,333 枚
 アルバム: 1,461,170 枚 / 組
 ビデオ: 1,134,535 枚
 配信: 4,236,918 DL



■ 洋楽

レディー・ガガ

アルバム: 639,330 枚 / 組
 配信: 2,106,228 DL

受賞一覧

賞 名		タイトル	アーティスト名	発売会社	
アーティスト・オブ・ザ・イヤー	邦楽	—	嵐	ジェイ・ストーム	
	洋楽	—	レディー・ガガ	ユニバーサル ミュージック	
ニュー・アーティスト・オブ・ザ・イヤー	邦楽	—	少女時代	ユニバーサル ミュージック	
	洋楽	—	KARA	ユニバーサル ミュージック	
ザ・ベスト5 ニュー・アーティスト	邦楽	—	WEAVER	A-Sketch	
			北乃 さい	エイベックス・マーケティング	
			KG	ユニバーサル ミュージック	
			少女時代	ユニバーサル ミュージック	
			miwa	ソニー・ミュージックレコーズ	
ザ・ベスト3 ニュー・アーティスト	洋楽	—	オリアンティ	ユニバーサル ミュージック	
			KARA	ユニバーサル ミュージック	
			KE\$HA	ソニー・ミュージックジャパンインターナショナル	
ザ・ベスト・演歌 / 歌謡曲・アーティスト	—	—	坂本 冬美	EMI ミュージック・ジャパン	
アルバム・オブ・ザ・イヤー	邦楽	僕の見ている風景	嵐	ジェイ・ストーム	
	洋楽	ア・サウザンド・サンズ	リンキン・パーク	ワーナーミュージック・ジャパン	
ザ・ベスト5 アルバム	—	僕の見ている風景	嵐	ジェイ・ストーム	
		FANTASY	EXILE	エイベックス・マーケティング	
		BEST SELECTION 2010	東方神起	エイベックス・マーケティング	
		to LOVE	西野 カナ	エスエムイーレコーズ	
		ファンキーモンキーベイビーズ BEST	FUNKY MONKEY BABYS	ドリーミュージック	
クラシック・アルバム・オブ・ザ・イヤー	—	マイ・フェアヴァリット・ショパン	辻井 伸行	エイベックス・マーケティング	
ジャズ・アルバム・オブ・ザ・イヤー		TAKE YOUR PICK	Larry Carlton & Tak Matsumoto	VERMILLION RECORDS	
インストゥルメンタル・アルバム・オブ・ザ・イヤー		image 10 emotional & relaxing	ヴァリアス	ソニー・ミュージックジャパンインターナショナル	
サウンドトラック・アルバム・オブ・ザ・イヤー		借りぐらしのアリエッティ サウンドトラック	セシル・コルベル	徳間ジャパンコミュニケーションズ	
アニメーション・アルバム・オブ・ザ・イヤー		ONE PIECE MEMORIAL BEST	V.A.	エイベックス・エンタテインメント	
純邦楽・アルバム・オブ・ザ・イヤー		第四十六回 コロムビア 全国吟詠コンクール課題吟 梅	日本コロムビア吟詠音楽会	日本コロムビア	
企画・アルバム・オブ・ザ・イヤー		—	Request	JUJU	ソニー・ミュージックアソシエイテッドレコーズ
		—	VOCALIST 4	徳永 英明	ユニバーサル ミュージック
シングル・オブ・ザ・イヤー		—	Beginner	AKB48	キングレコード
ザ・ベスト5 シングル		—	Troublemaker	嵐	ジェイ・ストーム
			Monster	嵐	ジェイ・ストーム
			Beginner	AKB48	キングレコード
			ヘビーローテーション	AKB48	キングレコード
	ポニーテールとシュシュ		AKB48	キングレコード	
ソング・オブ・ザ・イヤー・バイ・ダウンロード	邦楽	会いたくて 会いたくて	西野カナ	エスエムイーレコーズ	
	洋楽	ティック・トック	KE\$HA	ソニー・ミュージックジャパンインターナショナル	
ザ・ベスト5 ソング・バイ・ダウンロード	—	もっと強く	EXILE	エイベックス・マーケティング	
		Ring a Ding Dong	木村 カエラ	日本コロムビア	
		会いたくて 会いたくて	西野 カナ	エスエムイーレコーズ	
		if	西野 カナ	エスエムイーレコーズ	
		Best Friend	西野 カナ	エスエムイーレコーズ	
ザ・ベスト・ミュージック・ビデオ	邦楽	ARASHI Anniversary Tour 5×10	嵐	ジェイ・ストーム	
		EXH SPECIAL EXILE ATSUSHI PREMIUM LIVE SOLO	EXILE ATSUSHI	エイベックス・マーケティング	
		TOHOSHINKI VIDEO CLIP COLLECTION - THE ONE -	東方神起	エイベックス・マーケティング	
	洋楽	レディーズ & ジェントルメン	ザ・ローリング・ストーンズ	WHD エンタテインメント	
特別賞	—	トイレの神様 「VOCALIST」シリーズ	植村 花菜 徳永 英明	キングレコード ユニバーサル ミュージック	

第25回日本ゴールドディスク大賞は、当該年度（2010年1月1日～2010年10月31日）の正味売上に基づき各賞を授与しています。

第三回CDショップ大賞決定！！ 大賞は andymori の『ファンファーレと熱狂』に

1月20日、全日本CDショップ店員組合はCDショップ大賞実行委員会（実行委員長:mona records 店主 行 達也氏）が実施する『第三回CDショップ大賞』の授賞式を東京都渋谷区のwwwにおいて開催し、andymori（アンディモリ）の『ファンファーレと熱狂』が大賞受賞作品として表彰された。

準大賞には、神聖かまってちゃん『友だちを殺してまで。』と、世界の終わり『EARTH』、秦基博『Documentary』、洋楽賞として、THE DORUMS『THE DORUMS』、MAROON5『HANDS ALL OVER』、VAMPIRE WEEKEND『Contra』の3作品が表彰された。

このCDショップ大賞は、全国のCDショップ店員の投票だけで選ばれる賞であり、昨今、音楽を取り巻く様々な課題がある中、CDショップの現場からもっと音楽を盛り上げていきたいというショップ店員の熱い思いによって設立された。メジャー、インディーズを問わず、過去1年間に発売された作品を対象とし、素晴らしい作品、新しい才能を伝えていくことを目指しており、第一回大賞に相対性理論の『シフォン主義』、第二回大賞にTHE BAWDIESの『THIS IS MY STORY』が選出されている。

第三回目となる今回は、2009年11月1日から2010年10月31日までにリリースされたオリジナルアルバム（ベスト盤を除く）を選考対象としており、今回から、第一次投票にはコメント記載を必須とし、一票に込める想いやこだわりを重視した。また前回より始まった「地方賞」をより全国区にチャンスを広げるため、第一次投票で選ばれた上位17作品に加えてノミネート作品とした。二次投票では、地方賞8作品を加えた25のノミネート作品すべてを聴いたCDショップ店員が、大賞にふさわしいと思う作品を各自3作品まで選出、投票を行なった。

当日は、大賞を受賞した andymori が会場に駆けつけ、受賞の喜びを述べ、受賞作品『ファンファーレと熱狂』の中から「1984」を披露した。

また、各地のショップでは、受賞作品を紹介する特設コーナーが設けられた。ショップ店員が選ぶ賞として、注目度が高く、ショップに訪れたユーザーは興味深い様子で作品を手に入っていた。



大賞の andymori は会場に駆けつけ、受賞の喜びを語った。



大賞作品『ファンファーレと熱狂』より「1984」を披露。



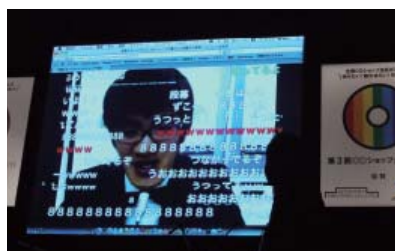
CDショップ店員と一緒に、受賞の喜びを分かち合う。



受賞したトロフィーを眺める andymori



タワーレコード渋谷店 1F



準大賞の神聖かまってちゃんのリーダー mono さんは、ニコニコ動画を利用して、受賞の挨拶を述べた。



準大賞の秦基博さんはビデオコメントを会場に寄せた。

受賞作品紹介

CD ショップ大賞

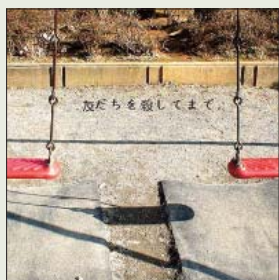


andymori 『ファンファーレと熱狂』



andymori の皆さん

準大賞



神聖かまってちゃん『友だちを殺してまで。』

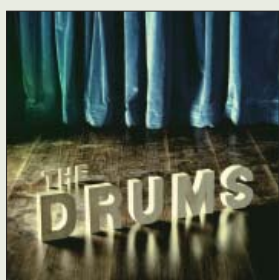


世界の終わり『EARTH』



秦基博『Documentary』

洋楽賞



THE DRUMS 『THE DRUMS』



MAROON 5 『HANDS ALL OVER』



VAMPIRE WEEKEND 『Contra』

入賞



小林太郎
『Orkonpood』
(東海ブロック賞)



サカナクション
『kikUUiki』



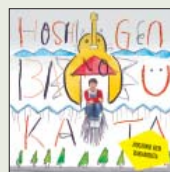
ナオト・インティライミ
『Shall we travel??』



七尾旅人
『billion voices』



FAT PROP
『THE DIE IS CAST』



星野源
『はかのうた。』



The Mirraz
『TOP OF THE
FUCK'N WORLD』

全日本 CD ショップ大賞店員組合 <http://www.cdshop-kumiai.jp/>

特報

Special Report

2010年ミリオン認定作品

※ 2010年に認定された作品(2009年以前に発売されたものを含む)

CD

※日付は発売日

アルバム

ミリオン



VOCALIST
徳永英明

2005.09.14
ユニバーサル ミュージック



僕の見ている風景
嵐

2010.08.04
ジェイ・ストーム



いきものばかり
～メンバーズ BEST セレクション～
いきものがかり

2010.11.03
エピックレコードジャパン

シングル

ミリオン



Beginner
AKB48

2010.10.27
キングレコード

音楽配信

※日付は配信開始日

着うた®

2ミリオン



ふたつの唇
EXILE

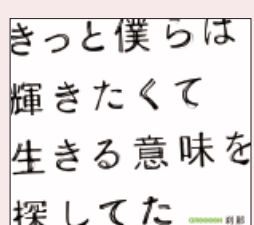
2009.10.01
エイベックス・マーケティング

ミリオン



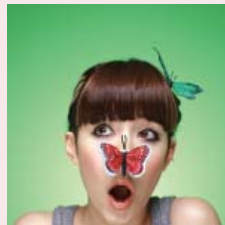
残酷な天使のテーゼ
高橋 洋子

2003.11.05
キングレコード



刹那
GReeeeN

2009.02.02
ユニバーサル ミュージック

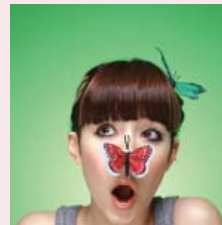


Butterfly
木村 カエラ

2009.06.01
日本コロムビア

着うたフル®

ミリオン



Butterfly
木村 カエラ

2009.06.01
日本コロムビア



春夏秋冬
ヒルクライム

2009.08.26
ユニバーサル ミュージック



会いたくて 会いたくて
西野 カナ

2010.04.21
エスエムイーレコーズ



Ring a Ding Dong
木村 カエラ

2010.05.26
日本コロムビア



もっと強く
EXILE

2010.07.21
エイベックス・マーケティング



会いたくて 会いたくて
西野 カナ

2010.05.12
エスエムイーレコーズ

改正著作権法施行から一年が経過 ～ダウンロード違法化の認知と今後の課題～

2010年1月1日に改正著作権法が施行され、「違法配信からのダウンロードが違法」となり、1年が経過した。この施行に際し、当協会では、さまざまなキャンペーンや広報活動を実施し、周知に取り組んできた。

このたび、改正著作権法施行から一年の経過に際し、本改正法の認知状況、今後の課題について、文化庁長官官房著作権課 著作物流通推進室 川瀬真室長にお話を伺った。

「違法配信からのダウンロードは違法」ルールの普及には 日常的かつ地道な取り組みが重要

2010年1月1日の改正著作権法の施行から、一年が過ぎました。この改正において、「違法ダウンロード（違法なインターネット配信を違法と知りながら録音又は録画する行為）」が、私的複製に関する例外規定（第30条）から除外され、「違法配信からのダウンロードは違法」という新たなルールが確立されたわけです。この法律を制定する当初から、私たちは普及活動が必要不可欠であるとの認識を持ってきました。また国会の附帯決議でも、そうした普及活動を十分に実施するようにとの指摘がなされ、立法府から行政府に対する、いわば「宿題」をいただいていた。そこで政府広報を通じて、雑誌やテレビなどさまざまなメディアによる、キャンペーンの展開に努めてまいりました。

このような活動を受けて、どの程度、認知度が獲得されたかについて、政府としての調査は今のところ行ってはいません。ただし、改正著作権法の認知について民間諸団体で実施されている多様な調査情報は入手し、参考にしています。それら複数の調査によれば、概ね5割程度の人が、認知しているという結果が見受けられます。これを「多くの人が知っている」と見るのか、「まだまだ認知が足りない」と見るのか、評価の分かれるところだと思います。ただ著作権という難しい法律にしては、一定の認知が進んできたと言えると思います。違法コピーが一番多いと言われる若年層でも、認知度は他の年齢層と変わらず、5割程度はあります。もちろん十分とはいえませんが、第一段階としてはまずまずの結果ではないでしょうか。今後も粘り強い広報展開を行っていく考えです。

一方で、一般に広く普及を進めると同時に、違法サイトを利用する人たちに対して、意識的に認知を促す活動に、もっと力を入れていく必要性を感じています。違法サイトの利用者には改正著作権法の認知が進んでいないという日本レコード協会の調査もあると伺いましたが、こうした人たちは積極的に「違法であること」を知ろうとしない、知っていても知らない振りをするという態度があるのではな



文化庁長官官房 著作権課
著作物流通推進室
室長 川瀬真氏

いでしょうか。彼らはインターネットのヘビーユーザーでもあると思われるので、インターネットを通じた普及活動がキーになると考えます。文化庁でもウェブサイトを紹介して情報発信を行っていますが、各権利者団体でも、違法サイトユーザーをターゲットにした広報戦略を立てて、「違法配信からのダウンロードは違法」のルールを徹底して広げるよう取り組んでいただければと期待しています。官民での連携をさらに深めながら、1パーセントでも認知度が向上するよう、ともに行っていきたいと思います。

違法コピーの主体が海賊版業者から個人へ移ってきた現在、私的領域で行われる違法行為が重い課題になってきました。音楽や映像だけではなく、これからは電子書籍も入ってきて、デジタル時代の著作権制度はどうあるべきかという問題は、ますます大きくなるでしょう。罰則の運用を含め、方法論はいろいろ考えられますが、新たな仕組みづくりにおいては、権利者とコンテンツの利用者を含めたステイクホルダー同士の十分な協議を経て、明確な方向性を確立していくことが求められます。制度を実際に変えていくには時間がかかりますが、著作権の普及啓発は継続的に行うことができます。まずは日常的に地道な活動しっかり行っていくことが、大切だと考えています。

（談）

SARVH－東芝訴訟 東京地方裁判所の判決について

2010年12月27日、私的録画補償金管理協会（SARVH）が、アナログチューナー非搭載のDVD録画機器を製造・販売しながら当該製品の販売価格に私的録画補償金を上乗せして徴収せず、「私的録画補償金の支払の請求およびその受領に関する協力」を拒否した株式会社東芝（東京都港区）を提訴していた訴訟に関し、東京地方裁判所（大鷹一郎裁判長）の判決が出された。2009年11月10日の提訴以来、当協会は、SARVHを構成するレコード製作者団体として、SARVHを全面的に支援してきたが、裁判所の判断は原告SARVHの請求を棄却するという結果であった。

本件訴訟における争点および第一審の判断は、次の通り。

【争点1】被告各製品の特定機器該当性

：被告各製品は、いずれも私的録画補償金の対象である「特定機器」（著作権法施行令1条2項3号）に該当するものと認められる。

【争点2】著作権法第104条の5の協力義務としての私的録画補償金相当額支払い義務の有無

：著作権法第104条の5が規定する特定機器の製造業者等が負う原告に対する私的録画補償金の支払の請求およびその受領に関する協力義務は、原告の主張するような法律上の具体的な義務ではなく、法的強制力を伴わない抽象的な義務であると解される。

【争点3】被告東芝による不法行為の成否

：原告が主張する被告の不法行為は、いずれもその成立が認められない。

SARVHはこの判決を不服として、判決の翌日である12月28日、知的財産関係の控訴審を専門に取り扱う知的財産高等裁判所へ控訴した。

当協会は控訴審においても引き続きSARVHを全面的に支援していく。

なお、私的録音録画補償金制度は、著作権法上の制度として規定されていながら空洞化しつつある。そのため、権利者は、権利を制限されているにもかかわらず適切な対価の還元を受けていない。

当協会は、私的録音録画補償金制度を録音録画実態に合わせた制度に変更するか、あるいは私的録音録画補償金制度に代わる新たな権利者への代償措置の導入に向けた取り組みを、関係団体と連携を執りながら推進していく。

この判決について、慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科教授の岸博幸氏より、ご寄稿いただいた。

私的録画補償金裁判の判決を考える

慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科教授 岸 博幸

昨年末に、私的録画補償金を巡るSARVH対東芝の裁判の第一審判決があり、原告であるSARVHの敗訴となったが、この結果の評価に当たっては、制度そのものの問題点から考えなくてはならない。

そもそも、私的録音録画補償金制度には本質的な問題がある。この制度は、デジタルでの録音録画が権利者（＝コンテンツの制作側）の所得機会を低下させることから、制作側の逸失所得を補償するという目的で作られた。

コンテンツの制作側に正当な対価が還元されないと、コンテンツの拡大再生産は不可能となり、それはコンテンツという産業レベルを超えて、文化という社会のインフラであり日本のソフトパワーの源に影響が及ぶ。従って、市場メカニズムに任せずに政府が介入して、デジタルの恩恵を被る者から一定額を徴収して制作側に再配分する、という制度の目的自体は非常に正しい。

問題は、制度はデジタルのみを意識してインターネットが視野に入っておらず、かつ近年は新しい機器やメディアが制度の対象にほとんど追加されなかったため、パソコン、スマートフォンなどユーザのコンテンツ視聴の中心的な機器が対象に入っていないということである。

その結果、今や特に録音補償金は制度自体が崩壊状態にある。制度があるにも関わらず、制作側はほとんど補償されていないのである。その責任は、制度の拡充や機器の対象の追加を怠ってきた政府にある。

加えて、政府の縦割り行政の中で、関係省庁の調整が不十分であったことが今回の裁判のきっかけとなった。

裁判のきっかけとなったのは総務省によるダビング10の制定であるが、同ルールの導入に当たって総務省は、権利者への補償をどうするか、ダビング10と補償金との関係をどうするか、といった点について、関係省庁と十分に調整することを怠った。そうした中で経産省は、ソフトとハードの両方を所管するにも関わらず、結果的にハードメーカーのみを擁護した。

そう考えると、今回の裁判に至った原因は、もちろんハードメーカーの側の自分だけ良ければいいという米国ネット企業と同じ独りよがりな行動にあるのだが、それは市場メカニズムの中ではやむを得ないことであるにも関わらず、それを積極的に補正しようとしなかった政府の“不作為という作為”にもあるのである。

そうした中で今回の判決となった。結果は敗訴であるが、原告の全面的な敗訴ではないと思う。争点となった、アナログチューナー非搭載のDVD録画機が補償金の対象機器（“特定機器”）に当たるかどうかという点については、該当するという判断が示されたからである。

ただ、著作権法104条の5に規定されたハードメーカーの協力義務が法的強制力のない抽象的な義務に過ぎないという裁判所の判断には同意できない。機器を流通させてユーザとつながり得るのはハードメーカーだけであり、それが補償金を徴収しないとすると権利者が自ら徴収せざるを得なくなるが、それは現実的には不可能だからである。

もちろん、この点については控訴審で引き続き争われるのであろうが、逆に言えば、もし最高裁まで行っても法的強制力のない抽象的な義務という判断が覆らない場合は、ハードメーカーのモラルと政府の不作為の責任が一層問われることになることを忘れてはならない。

ハードメーカーが不払いを続けるならば、それは、文化が衰退して社会的悪影響が生じても構わないと言っているに等しく、企業の社会的責任を放棄しているからである。環境は守っても文化は守らないのである。

そして、法的強制力のない抽象的な義務という判断が確定する場合に備えて制度の具体的な実務を法定しなかったり、デジタル&ネットが当たり前という実態を踏まえた形で補償金制度自体を改善しないならば、それは更なる政府の“不作為という作為”になることを忘れてはならない。

もちろん、政府がこれまでも新しい制度の確立に向けて関係者を集めようとしたことは知っているが、現行制度も守られずに相互不信が渦巻く中では、アリバイ作りをしている程度にしか見えない。

そう考えると、今回の判決は、権利者よりもむしろハードメーカーと政府、特に政府に突きつけられている部分の方が多いのである。だからこそ、SARVHは控訴審で淡々と正論を述べ続けるべきだし、コンテンツの制作側としても政府の“不作為という作為”を徹底的に糾弾すべきである。

岸博幸 慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科教授

1986年通商産業省（現経済産業省）入省。1992年コロンビア大学ビジネススクールでMBAを取得後、通産省に復職。内閣官房IT担当室などを経て竹中平蔵大臣の秘書官に就任。不良債権処理、郵政民営化、通信・放送改革など構造改革の立案・実行に関わる。2004年から慶応大学助教授を兼任。2006年、経産省退職。2007年から現職。現在はエイベックス非常勤取締役を兼任。



特 報

Special Report

平成 22 年度（第 65 回）文化庁芸術祭賞贈呈式開催

1 月 25 日、東京都千代田区の如水会館において、平成 22 年度（第 65 回）文化庁芸術祭賞贈呈式が開催された。

文化庁芸術祭は内外の優れた芸術作品を鑑賞する機会を広く一般に提供するとともに、芸術の創造とその発展を図ることを目的に、文化庁が昭和 21 年より毎年開催しているものである。今回は演劇 48 件、音楽 39 件、舞踊 29 件、大衆

芸能 41 件、テレビ・ドラマ 18 作品、テレビ・ドキュメンタリー 37 作品、ラジオ 24 作品、レコード 30 作品の各部門への参加作品の中から、優れた成果をあげた芸術家や団体に対し、大賞、優秀賞、新人賞が贈られた。

ここではレコード部門で受賞した大賞 1 作品および優秀賞 3 作品を、審査委員会による受賞理由とともに紹介する。

大 賞



二世豊竹古鞆太夫（山城少掾）義太夫名演集

日本コロムビア株式会社

明治・大正・昭和時代を代表する義太夫節の太夫、豊竹古鞆太夫が 1909 年にこの名を襲名し、のちの 1947 年に山城少掾を受領するが、この CD は古鞆太夫時代の貴重な録音である。40 代から 50 代という脂の乗り切った時代の古鞆太夫の語りと言われた相三味線、三世鶴澤清六の実際の演奏を聞くことができるのは、こうした地道な製作者の努力の賜物であり、アーカイブ的な意味でも高く評価される。

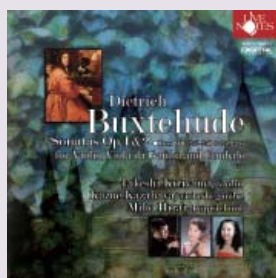
優秀賞



モノ＝ポリ

株式会社オフィス ENZO

一人のバリトン歌手の手作りによる多重録音によって、古典から現代までの声楽作品がどれも美しい音像を結んでいる。選曲は歴史的な多彩さを保ちながら意外性にも満ち、そして果敢な取り組みも際立っており、完璧に協和し共振する声の響きが、それらのどの曲にも溢れていて完成度が高い。



ブクステフーデ：ヴァイオリン、ヴィオラ・ダ・ガンバとチェンバロのためのソナタ

有限会社ナミ・レコード

これまでブクステフーデは主としてオルガン曲や宗教音楽によって知られてきたが、これは彼の室内楽の質の高さを知らしめる画期的な録音である。桐山建志の光彩陸離たるヴァイオリン、そこにメランコリックな陰影を添える風早一恵のヴィオラ・ダ・ガンバを、平井み帆のチェンバロが堅牢な通奏低音で支え、完璧なアンサンブルを見せている。



柴田南雄とその時代 第一期

株式会社フォンテック

作曲家であるとともに音楽研究家でもあった柴田南雄が遺した巨人的な成果を、生涯の長いスパンにわたって貴重な録音・映像としてまとめたもの。その大きな足跡をたどる第一歩ではあるものの、すでに驚異的な広がりや深さを示している。アルバムとしての丁寧な作りも顕著で、解説も充実している。

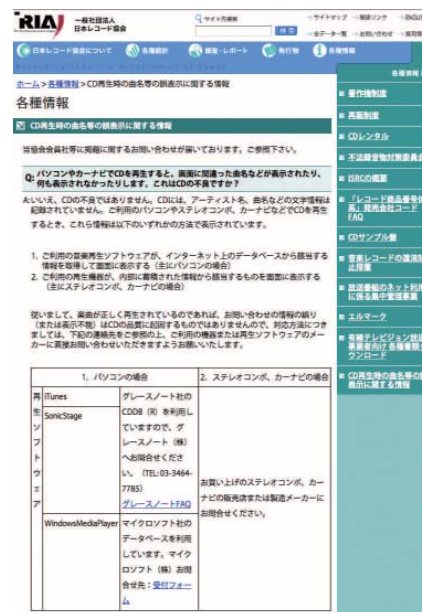
CD 再生時の曲名等の誤表示に関する情報／ マイクロソフト社問い合わせ窓口を設置

「ウィンドウズ・メディア・プレイヤー」開発元のマイクロソフト社は、パソコンで「ウィンドウズ・メディア・プレイヤー」を用いてCDを再生する際の曲名・アーティスト名等が誤表示される件に関して、一般ユーザーからの問い合わせに対応するため、1月31日よりサポート窓口を開設した。サポートは、同社ウェブサイトには設置した問い合わせフォームを通じて問い合わせを受け、電子メールで回答が行われる。

これに伴い当協会では、公式サイト「CD 再生時の曲名等の誤表示に関する情報」ページ上にマイクロソフト社問い合わせフォームへのリンクを設置した。

今後、当協会会員社のウェブサイトでも問い合わせフォームへのリンクを順次設置していく予定である。

CD 再生時の曲名等の誤表示に関する情報
http://www.riaj.or.jp/all_info/cd_info/index.html



「洋楽 ROCK & POPS 1000 枚の LP ジャケット展」開催

1月14日から2月3日にかけて、東京都大田区のギャラリー鴻において、日本工学院専門学校、東京工科大学主催、(株)金羊社、Coppe'の共催による「洋楽ROCK & POPS 1000枚のLPジャケット展」が開催された。

かつてレコード購入の際、「ジャケ買い」という形があったように、LP レコードジャケットはアーティストの音楽の世界を視覚化する場所であると同時に、約 30 センチメートル四方の正方形に表現したビジュアルは現在の PV と同様にプロモーションの役割を担ってきた。同展示会の関係者は「所有している貴重な財産をなんらかの形で生かせる方法はないかと考え、この展示会を企画した」と語る。

展示会では総延長 200m の壁面に、洋楽 ROCK と POPS の LP ジャケットが、ジャンル・テーマ別に展示され、CD にも音楽配信にもない LP レコードならではの「迫力」と「魅力」を来場者に伝えた。



Monthly Production Report

2010年12月度レコード生産実績

12 月度の音楽ソフト（オーディオレコード・音楽ビデオの合計）生産実績は、数量で前年同月比 93% の 2,115 万枚・巻、金額で 103% の 264 億円となった。

このうち、オーディオレコードは、数量で前年同月比 91% の 1,624 万枚・巻、金額で 103% の 191 億円となり、また、音楽ビデオは、数量で前年同月比 104% の 491 万枚・巻、金額で 103% の 73 億円となった。

この結果、2010 年 1 月～12 月の累計では、音楽ソフト生産実績は、数量で前年比 94% の 2 億 5,635 万枚・巻、金額で 90% の 2,836 億円となり、このうち、オーディオレコードは、数量で前年比 98% の 2 億 988 万枚・巻、金額で 90% の 2,250 億円、音楽ビデオは、数量で前年比 79% の 4,648 万枚・巻、金額で 88% の 586 億円となった。

● オーディオレコード

(数量:千枚・巻/金額:百万円)

			12 月実績						2010 年 1 月～2010 年 12 月累計					
			数 量	構成比	前年同月比	金 額	構成比	前年同月比	数 量	構成比	前年同期比	金 額	構成比	前年同期比
シ	8cmCD	邦	5	0	93%	3	0	86%	107	0	70%	39	0	69%
		洋	0	0	-	0	0	-	0	0	13%	0	0	37%
		計	5	0	93%	3	0	86%	107	0	69%	40	0	69%
ン	12cmCD	邦	3,183	20	122%	2,082	11	109%	49,990	24	113%	36,874	16	110%
		洋	39	0	1349%	26	0	1127%	513	0	99%	365	0	97%
		計	3,221	20	123%	2,109	11	110%	50,503	24	113%	37,239	17	110%
グ	小計	邦	3,188	20	122%	2,085	11	109%	50,096	24	113%	36,913	16	110%
		洋	39	0	1349%	26	0	1127%	514	0	98%	365	0	96%
		計	3,226	20	123%	2,112	11	110%	50,610	24	113%	37,278	17	109%
ル	12cmCD アルバム	邦	8,426	52	75%	12,586	66	103%	114,855	55	97%	144,030	64	92%
		洋	4,327	27	118%	4,147	22	102%	41,074	20	87%	40,725	18	74%
		計	12,753	79	85%	16,733	88	103%	155,929	74	94%	184,755	82	87%
CD 合計	CD 合計	邦	11,614	72	84%	14,671	77	104%	164,951	79	102%	180,943	80	95%
		洋	4,365	27	119%	4,173	22	102%	41,588	20	87%	41,090	18	74%
		計	15,979	98	91%	18,844	99	104%	206,539	98	98%	222,033	99	90%
アナログ ディスク	アナログ ディスク	邦	0	0	11%	1	0	17%	52	0	96%	84	0	80%
		洋	18	0	380%	30	0	381%	54	0	110%	87	0	102%
		計	19	0	220%	31	0	225%	105	0	103%	170	0	90%
カセット テープ	カセット テープ	邦	223	1	68%	176	1	74%	2,866	1	76%	2,300	1	78%
		洋	0	0	-	0	0	-	0	0	4%	0	0	18%
		計	223	1	68%	176	1	74%	2,866	1	76%	2,300	1	78%
その他	その他	邦	11	0	139%	17	0	137%	168	0	76%	210	0	85%
		洋	9	0	35%	16	0	56%	201	0	118%	285	0	101%
		計	20	0	60%	33	0	81%	369	0	94%	495	0	94%
合 計	合 計	邦	11,848	73	83%	14,865	78	104%	168,036	80	101%	183,536	82	95%
		洋	4,393	27	119%	4,219	22	103%	41,843	20	88%	41,462	18	74%
		計	16,241	100	91%	19,084	100	103%	209,879	100	98%	224,998	100	90%

● 音楽ビデオ

		12 月実績						2010 年 1 月～2010 年 12 月累計					
		数 量	構成比	前年同月比	金 額	構成比	前年同月比	数 量	構成比	前年同期比	金 額	構成比	前年同期比
DVD	邦	4,124	84	97%	6,096	84	98%	40,986	88	78%	51,263	87	89%
	洋	603	12	154%	587	8	94%	4,916	11	83%	5,225	9	63%
	計	4,727	96	102%	6,682	92	98%	45,902	99	78%	56,488	96	86%
テープ・その他		178	4	203%	588	8	252%	573	1	136%	2,126	4	187%
合 計	邦	4,292	88	99%	6,650	91	104%	41,453	89	78%	53,039	90	91%
	洋	613	12	154%	620	9	97%	5,022	11	84%	5,575	10	66%
	計	4,905	100	104%	7,270	100	103%	46,475	100	79%	58,614	100	88%

● 音楽ソフト（オーディオ/音楽ビデオ合計）

			12 月実績						2010 年 1 月～2010 年 12 月累計					
			数 量	構成比	前年同月比	金 額	構成比	前年同月比	数 量	構成比	前年同期比	金 額	構成比	前年同期比
オーディオ			16,241	77	91%	19,084	72	103%	209,879	82	98%	224,998	79	90%
音楽ビデオ			4,905	23	104%	7,270	28	103%	46,475	18	79%	58,614	21	88%
合 計			21,146	100	93%	26,354	100	103%	256,354	100	94%	283,612	100	90%

● ビデオ（含音楽ビデオ）

			12 月実績						2010 年 1 月～2010 年 12 月累計					
			数 量	構成比	前年同月比	金 額	構成比	前年同月比	数 量	構成比	前年同期比	金 額	構成比	前年同期比
DVD			10,468	93	124%	16,569	86	103%	97,017	92	92%	160,354	86	91%
テープ・その他			736	7	160%	2,755	14	162%	8,190	8	276%	26,558	14	242%
合 計			11,204	100	126%	19,324	100	109%	105,207	100	97%	186,912	100	100%

● オーディオ/ビデオ合計

			12 月実績						2010 年 1 月～2010 年 12 月累計					
			数 量	構成比	前年同月比	金 額	構成比	前年同月比	数 量	構成比	前年同期比	金 額	構成比	前年同期比
オーディオ			16,241	59	91%	19,084	50	103%	209,879	67	98%	224,998	55	90%
ビ デ オ			11,204	41	126%	19,324	50	109%	105,207	33	97%	186,912	45	100%
合 計			27,445	100	102%	38,408	100	106%	315,086	100	98%	411,910	100	94%

備考 1. 本年実績は、会員会社の集計である。当会員社が受託した非会員社からの販売委託分を含む。
2. 単位未満四捨五入により、内訳と合計が一致しない場合がある。
※オーディオレコードのその他は SACD、DVD オーディオ、DVD ミュージック、MD の合計。

音楽ソフト

邦楽

アルバム

●トリプル・プラチナ

THE BEST BANG !! SENCE	福山 雅治 Mr.Children	2010.11.17 2010.12.01	UM TF
---------------------------	----------------------	--------------------------	----------

●ダブル・プラチナ

神曲たち	AKB48	2010.04.07	K
------	-------	------------	---

●プラチナ

Love songs COSMONAUT	浜崎 あゆみ BUMP OF CHICKEN	2010.12.22 2010.12.15	AMI TF
-------------------------	---------------------------	--------------------------	-----------

●ゴールド

綾小路 きみまろ"元祖"爆笑スーパーライブ第0集! すべてはここから始まった Märchen DJ Kaori J MIX IV メッセージ	綾小路 きみまろ Sound Horizon DJ KAORI ヒルクライム	2010.01.01 2010.12.15 2010.12.15 2010.11.30	TE K UM UM
--	---	--	---------------------

シングル

●トリプル・プラチナ

チャンスの順番	AKB48	2010.12.08	K
---------	-------	------------	---

●ゴールド

おしろい花 Family 〜ひとつになること Best Friend's Girl この夜を止めてよ ひと	五木 ひろし Kinki Kids 三代目 J Soul Brothers JUJU 遊助	2010.02.03 2010.12.01 2010.11.10 2010.11.17 2010.11.10	FK JE AMI AI SR
---	---	--	-----------------------------

ビデオ

●プラチナ

EXILE LIVE TOUR 2010 FANTASY We are SMAP! 2010 CONCERT DVD	EXILE SMAP	2010.12.01 2010.12.08	AMI V
---	---------------	--------------------------	----------

●ゴールド

namie amuro PAST<FUTURE tour 2010 NEWS DOME PARTY 2010 LIVE! LIVE! LIVE! DVD!	安室 奈美恵 NEWS	2010.12.15 2010.12.22	AMI JE
--	----------------	--------------------------	-----------

洋楽

アルバム

●プラチナ

ガールズトーク	KARA	2010.11.24	UM
---------	------	------------	----

●ゴールド

ザ・ビートルズ 1962年～1966年(赤盤・デジタルリマスター) ザ・ビートルズ 1967年～1970年(青盤・デジタルリマスター) HOOT スピーク・ナウ MICHAEL	ザ・ビートルズ ザ・ビートルズ 少女時代 テイラー・スウィフト マイケル・ジャクソン	2010.10.18 2010.10.18 2010.12.22 2010.10.26 2010.12.15	EMI EMI UM UM SI
--	--	--	------------------------------

シングル

●ゴールド

ミスター ジャンピン	KARA KARA	2010.08.11 2010.11.10	UM UM
---------------	--------------	--------------------------	----------

ビデオ

●ゴールド

マイケル・ジャクソン VISION	マイケル・ジャクソン	2010.11.24	SI
-------------------	------------	------------	----

※日付は発売日

認定基準一覧

音楽ソフト(邦・洋、アルバム・シングル・音楽ビデオ)、音楽配信(着うた®、着うたフル®, パソコンダウンロードシングル・アルバム)共通

名称	略号	基準
ゴールド	G	10万以上
プラチナ	P	25万以上
ダブル・プラチナ	PP	50万以上
トリプル・プラチナ	PPP	75万以上
ミリオン	M	100万以上
2ミリオン	2M	200万以上
3ミリオン	3M	300万以上
以降、100万毎に賞を設定		

基準単位: 音楽ソフト・枚、配信・DL (ダウンロード)

※着うた®のみダブル・プラチナ以上を顕彰

※ **AI**: ソニー・ミュージックアソシエイテッドレコーズ / **AMI**: エイベックス・マーケティング / **C**: 日本コロムビア / **DF**: デフスターレコーズ / **EMI**: EMI ミュージック・ジャパン / **ES**: EPIC レコードジャパン / **FK**: ファイブズエンタテインメント / **JE**: ジャニーズ・エンタテインメント / **K**: キングレコード / **KS**: キュートレコード / **MH**: ソニー・ミュージックダイレクト / **SI**: ソニー・ミュージックエンタテインメント / **SR**: ソニー・ミュージックレコーズ / **TE**: テイチクエンタテインメント / **TF**: トイズファクトリー / **UM**: ユニバーサルミュージック / **V**: ビクターエンタテインメント / **WJ**: ワーナーミュージック・ジャパン

有料音楽配信 (「着うた®」他)

※「着うた®」「着うたフル®」は株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメントの登録商標です。

「着うた®」

邦楽

●トリプル・プラチナ

流星	コブクロ	2010.11.17	WJ
----	------	------------	----

●ダブル・プラチナ

A winter fairy is melting a snowman この夜を止めてよ	木村 カエラ JUJU	2010.11.17 2010.11.03	C AI
---	----------------	--------------------------	---------

「着うたフル®」

邦楽

●ダブル・プラチナ

ありがたう ヘビーローテーション 流星 この夜を止めてよ 大丈夫	いきものがかり AKB48 コブクロ JUJU ヒルクライム	2010.05.12 2010.08.04 2010.11.17 2010.11.17 2010.04.14	ES K WJ AI UM
--	--	--	---------------------------

●プラチナ

トイレの神様 I Wish For You Beginner RIVER A winter fairy is melting a snowman Gee Sunshine Girl	植村 花菜 EXILE AKB48 AKB48 木村 カエラ 少女時代 moumoon	2010.07.14 2010.10.06 2010.10.13 2009.10.14 2010.12.08 2010.10.20 2010.06.30	K AMI K K C UM AMI
--	---	--	--------------------------------------

●ゴールド

真冬のオリオン	INFINITY 16	2010.12.08	UM
---------	-------------	------------	----

Can't Wait 'Til Christmas Grateful Days feat.Noa You're the Only... Walk on Cassis いとすぎて duet with Tiara 風見鶏 2℃目の彼女 Trust In You アイシテル もう恋なんてしない 25 コ目の染色体	宇多田 ヒカル LGMonkees 小野 正利 ORANGE RANGE the GazettE KG コブクロ シド JUJU 平井 堅 横原 敬之 RADWIMPS	2010.11.24 2010.08.18 2006.07.19 2006.05.10 2006.11.16 2010.02.10 2010.12.06 2009.01.07 2010.05.19 2010.11.10 2007.12.05 2005.11.01	EMI ES MH SR K UM WJ KS AI DF WJ EMI
---	---	--	---

洋楽

●ゴールド

ノー・ワン (ラジオ・エディット) ヴァーチャル・インサニティ ボーカー・フェイス (LLG VS GLG ラジオ・ミックス)	アリシア・キーズ ジャミロクワイ レディー・ガガ	2007.11.07 2005.06.22 2010.10.13	SI SI UM
---	--------------------------------	--	----------------

PC 配信 (シングル)

邦楽

●ゴールド

A winter fairy is melting a snowman	木村 カエラ	2010.12.08	C
-------------------------------------	--------	------------	---

洋楽

●ゴールド

ミスター	KARA	2010.08.11	UM
------	------	------------	----

※日付は配信開始日

協会からのお知らせ

当協会は12月17日より、大切な音楽を未来へ残し、新たな才能を輩出し続ける環境を維持するために、「音楽創造のサイクル」や「著作権」がいかに大切かということを周知することを目的に、著作権啓発キャンペーン『LOVE MUSIC』をスタートし、特設サイトを設けて展開しております。サイト内の「MUSIC LOVER'S 私の一枚」のコーナーには、様々な分野でご活躍中の50名を超える著名人の方々から、ご自身が最も大切にしている一枚（レコード、CD）と、それにまつわるエピソードをお寄せいただいております。これまでに、福田靖さん、みうらじゅんさん、宅間孝行さん、音月桂さん、浅野忠信さん、武豊さん、箭内道彦さん、大谷ノブ彦（ダイノジ）さん、川平慈英さん、遠藤保仁さん、戸田恵梨香さん（掲載順）の大切な一枚を紹介しております。今後も順次掲載していきますので、ご期待下さい。



■ 特設キャンペーンサイトURL

パソコン

http://www.riaj.or.jp/lovemusic_cpn/

携帯

http://www.rom-m.jp/lovemusic_cpn/

THE RECORD No.615 2011年2月号 一般社団法人 日本レコード協会 機関誌

発行人 石坂 敬一
編集人 水村 雅博
発行日 2011年2月10日
発行 一般社団法人 日本レコード協会
〒107-0061 東京都港区北青山2-12-16 北青山吉川ビル11F
TEL. 03-6406-0510 (代) FAX. 03-6406-0520 (代)
URL: <http://www.riaj.or.jp/>

制作協力 株式会社エフピーアイ・コミュニケーションズ

編集後記

1月5日、第25回日本ゴールドディスク大賞が発表されました。さまざまなジャンルで活躍されたアーティストの皆さんや作品を顕彰する本賞の受賞作品のラインナップを眺めると、2010年の音楽シーンが見えてきます。数多くのファンに愛されているアーティストの受賞が目立つ一年でした。また、1月20日には全国のCDショップの店員の選考による第3回CDショップ大賞授賞式が開催されました。売り場のプロであるショップ店員によって選ばれた受賞作品はまた一味違い、非常に興味深いものでした。このような賞の発表は、旧譜が注目されるきっかけにもなると話すショップ店員の方もいます。私も、これらの受賞作品を参考に、新しい音楽にチャレンジしてみようと思っています。(T)

■ 当機関誌へのご意見・ご感想がございましたら、当協会公式サイト(URL: <http://www.riaj.or.jp/>)のお問い合わせページよりお寄せ下さい。